

令和2年度 県政モニターアンケート  
『認知症に関するアンケート調査』結果

令和2年10月

山梨県福祉保健部健康長寿推進課

1 調査目的

認知症高齢者の更なる増加が見込まれる中、県民の認知症に対する意識や認知症の理解促進に向けた方策など、県民ニーズを踏まえた認知症施策推進のための基礎資料を得るため、アンケート調査を実施。

2 調査時期

令和2年5月

3 調査対象

県内に在住する満18歳以上の者から無作為抽出により選出した者(県政モニター)

(1) 郵送モニター	224人
(2) インターネットモニター	189人
計	413人

4 回収結果

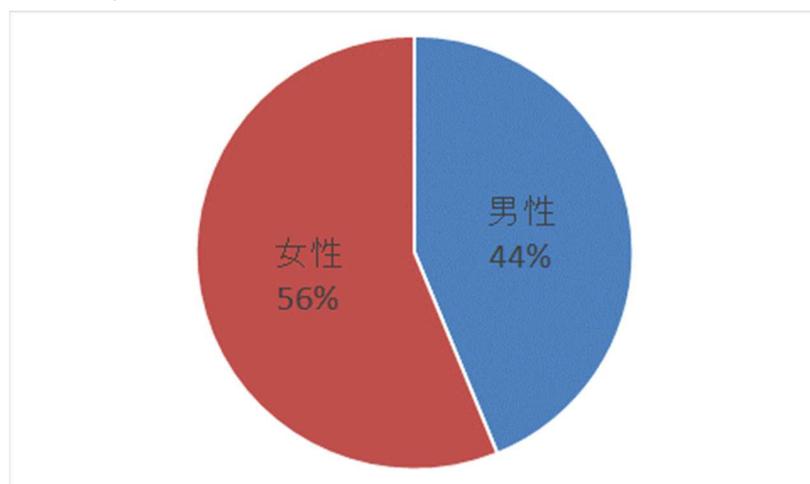
(1) 郵送モニター	202人(回答率90.2%)
(2) インターネットモニター	154人( " 81.5%)
計	356人( " 86.2%)

5 調査項目

- (1) 認知症の人と接する機会
- (2) 認知症サポーターに関すること
- (3) 認知症の理解促進に向けた広報の方法
- (4) 認知症に対するイメージ
- (5) 認知症になったときの暮らし方
- (6) 認知症に対する不安
- (7) 認知症に関する相談窓口
- (8) 成年後見制度について

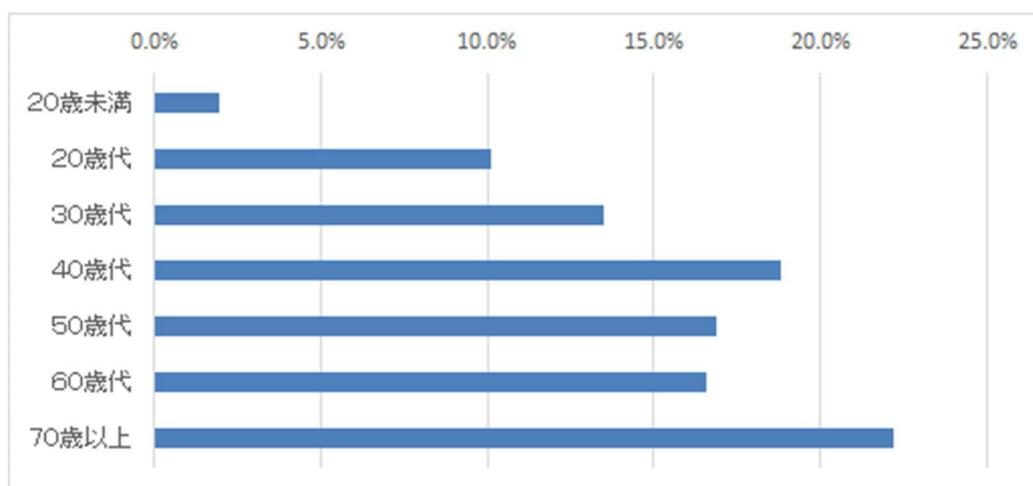
## <回答者の属性>

### (1) 性別



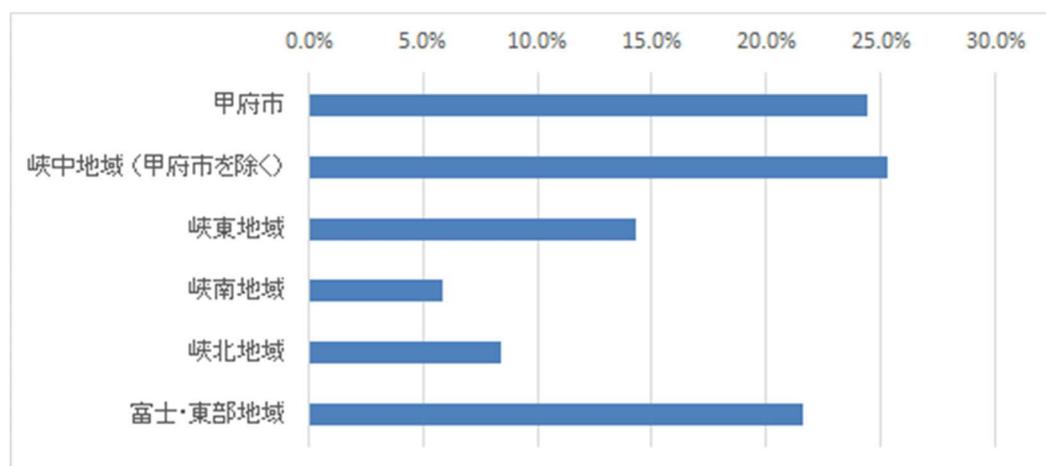
項目	回答数	割合
男性	156	43.8%
女性	200	56.2%
合計	356	100.0%

### (2) 年齢層



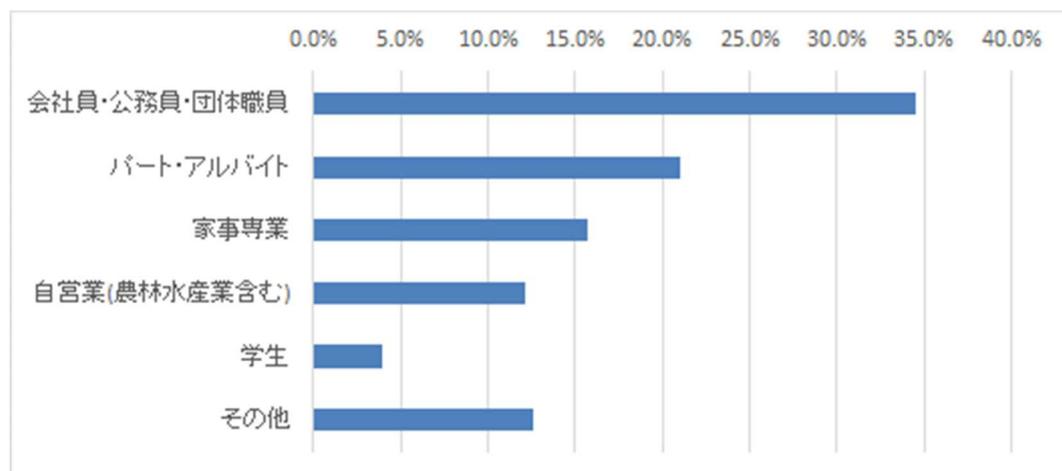
項目	回答数	割合
20歳未満	7	2.0%
20歳代	36	10.1%
30歳代	48	13.5%
40歳代	67	18.8%
50歳代	60	16.9%
60歳代	59	16.6%
70歳以上	79	22.2%
合計	356	100.0%

### (3) 地域別



市町村	人数	割合
甲府市	87	24.4%
峡中地域(甲府市を除く)	90	25.3%
峡東地域	51	14.3%
峡南地域	21	5.9%
峡北地域	30	8.4%
富士・東部地域	77	21.6%
合計	356	100.0%

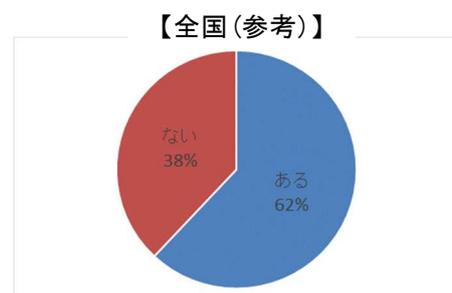
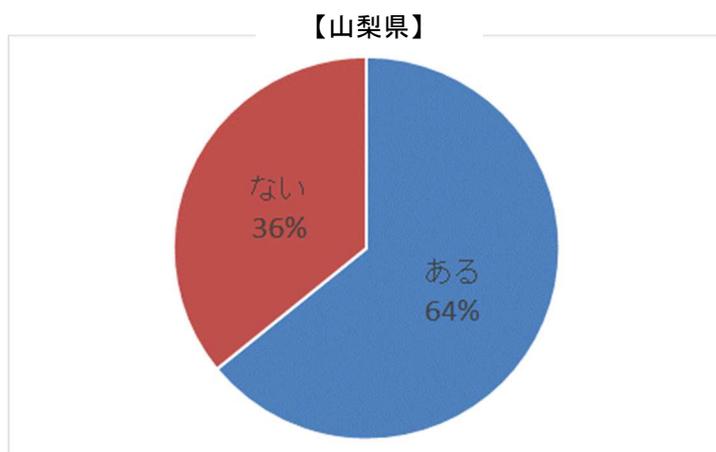
### (4) 職業別



職業	人数	割合
会社員・公務員・団体職員	123	34.6%
パート・アルバイト	75	21.1%
家事専業	56	15.7%
自営業(農林水産業含む)	43	12.1%
学生	14	3.9%
その他	45	12.6%
合計	356	100.0%

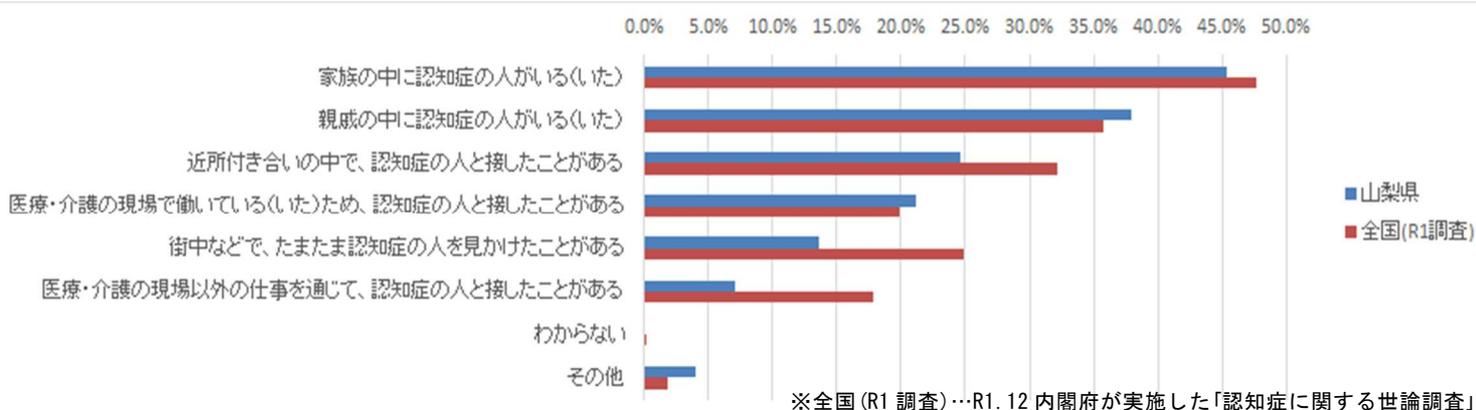
## 8 調査結果

【問1】あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか。(1つ選択)



※全国(R1調査)…R1.12内閣府が実施した「認知症に関する世論調査」

【問2】【問1】で「ある」を選択された方は、該当するものを次の中から選んでください。(複数回答可)



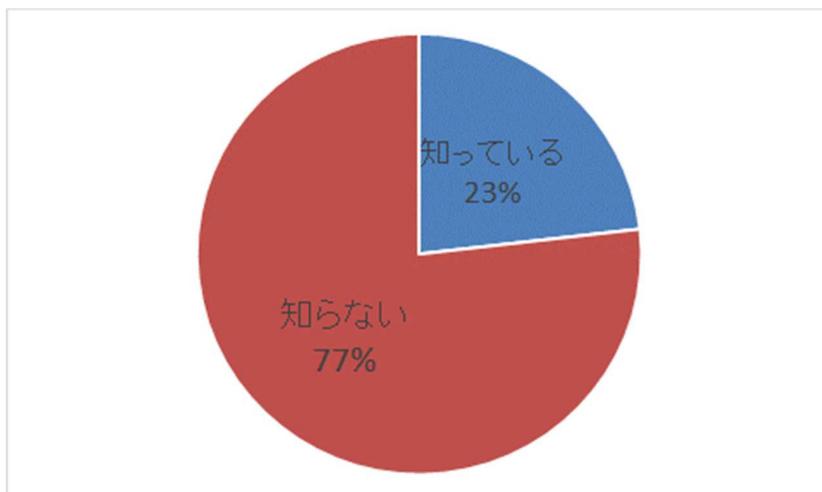
項目	回答数	山梨県	全国(R1調査)
家族の中に認知症の人がいる(いた)	103	45.4%	47.7%
親戚の中に認知症の人がいる(いた)	86	37.9%	35.8%
近所付き合いの中で、認知症の人と接したことがある	56	24.7%	32.2%
医療・介護の現場で働いている(いた)ため、認知症の人と接したことがある	48	21.1%	19.9%
街中などで、たまたま認知症の人を見かけたことがある	31	13.7%	24.9%
医療・介護の現場以外の仕事を通じて、認知症の人と接したことがある	16	7.0%	17.8%
わからない	0	0.0%	0.2%
その他	9	4.0%	1.9%
合計	349	-	-

n= 227

(「その他」の内容)

- ・友人の親
- ・大学在学時の実習
- ・学生の時、ボランティアで老人ホームへ訪問した際 等

【問3】あなたは認知症サポーターを知っていますか。(1つ選択)



項目	回答数	割合
知っている	67	23.2%
知らない	222	76.8%
合計	289	100.0%

【問4】地域で暮らす認知症の人や家族の困りごとに対し、認知症サポーターがどのような支援が可能か、考えられる支援の内容を記載してください。

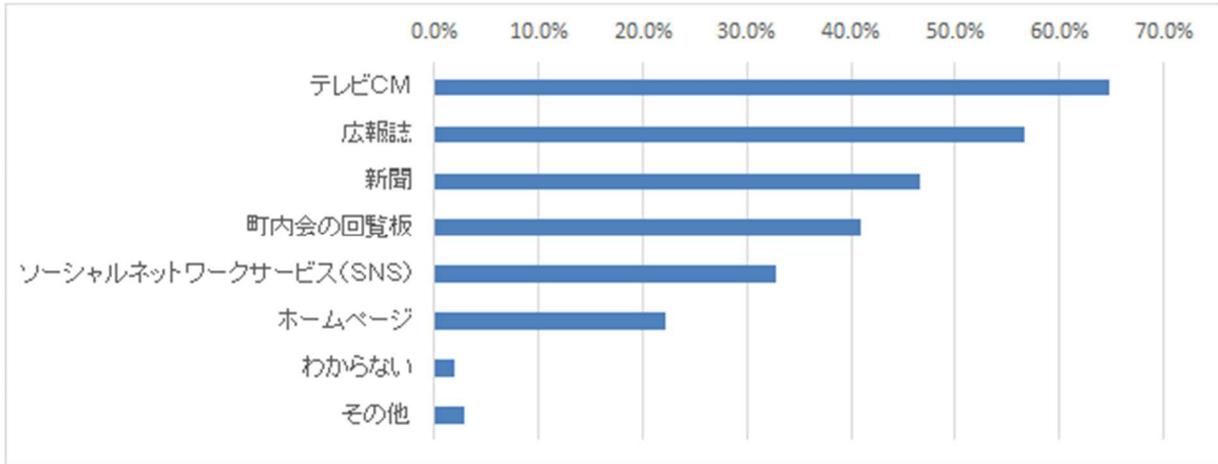
(自由記述)

(「自由記述」の内容)

- ・ 認知症の人に自然体で接することが必要
- ・ 偏見を持たないこと。認知症の本人と家族が今何を必要としているかを正しく理解し(家庭の事情、個々の症状が異なるので)、心に寄り添い、温かく見守る
- ・ 普通でないと感じたら、家族にアドバイスしてあげる
- ・ 相談に乗ってあげる
- ・ 見守り、安否確認、行政への橋渡し
- ・ 軽度な時から認知症の人と接する機会を持ち、長期間でフォローできれば良い。内容は個々の状態により考慮が必要
- ・ 火の消し忘れは誰もが心配することなので、朝夕交代でガスの元栓の開閉の確認してあげる
- ・ ご近所の認知症(介護度が軽い人)の方を少人数で集め、週何回か1~2時間程度、会話・手先の遊びなどを見守ってあげる
- ・ 困りごとに対し、関係機関への連絡など、可能なことを手助けする
- ・ 日々の認知症の人に対しての接し方。家庭を巡回する介護サービス施設への手配。介護用具の手配
- ・ 常時、認知症介護を行う介護者が少しでも離れて休息できる時間を作ってあげる。ストレスの抜き方など。
- ・ 声掛け、見守り
- ・ 優しく接し、話しかける。相手からの言葉に返答する。笑顔で明るく。
- ・ 食事を作ること。買い物に行くこと。食事を作る時に火を使うため、近所の人達の一番の心配事。近所の支援は限界がある。本人のプライドに入り込みすぎることも難しい。手助けしていくこちら側の年齢も難しくなり、心の行き違いが生じる。

- ・認知症の方が一人暮らしだと遣り取りしやすいが、家族への対応が難しい
- ・家族の相談に乗ってあげたり、認知症の方からの話を聞くこと（自分もいずれはなるかもしれないので、認知症を受け入れることが重要）
- ・理解し、温かく見守る。必要に応じて相談窓口につなげる。地域の中で生活できるよう、協力し、支援する。
- ・認知症は、自分がその病になっていることに気付かない。関わる人の大変さもありませんが、人事と思わず、私がそうだったら「こうしてもらいたい、そうしたい」という考えを、常に持ち続けて欲しい。
- ・認知症サポーターが地域（自治会）内に多くいることにより、徘徊者の早期発見につながる
- ・その家庭、個人で困っている事を支援すること。デイサービスに行きたくない人もいる。家で食事を作って欲しいだけのツアー、買い物だけのツアー、病院に連れて行ってくれるだけのツアーなどがあったら良い
- ・家を訪ねて巡回する。近所の人とコミュニケーションをとり、本人が苦しんでいるが他人に言えないことを見て、気付いてあげる。
- ・家族が認知症かも、と思った人への相談窓口や、介護認定されるまでの流れを伝える
- ・見守り、家から出て一人でいる時に声を掛けたり、家族に知らせる。家族に急用ができた時、しばらく見守ってあげる
- ・話を聞いて、否定しないで言葉をくり返してやる（数分もたたないで同じことを何度もくり返す）。水分不足も必要。細目に水分を補う。
- ・生活の見守り、家族の心の支援
- ・認知症の人が困った様子なら、声を掛けたり、お手伝いする。認知症がいる家族には、話を聞いてあげるなど
- ・相談相手になる。利用する施設等があれば、何かあった際の連絡先となる。
- ・各種相談窓口への案内
- ・家族や周りの人たちへの休息時間の確保の支援
- ・会話の仕方や対応の仕方、経験した中での知識を不安を持つ家族にできるだけ伝える
- ・周囲の人や家族の相談に乗って、一緒に考えること。独りじゃないと、思ってもらえることで精神的負担を減らせる。
- ・共に心配に寄り添って考えてあげることで家族の心配を緩和する
- ・見守り、相談、付き添い、家事手伝い、買い物代行
- ・認知症について正しい知識や認識を持ち、相談に乗ったりサポートをして、認知症の方や家族の方が暮らしていきやすい地域にしていく
- ・困りごと相談、身近な聞き手
- ・困りごとに応えることが出来るサービスの紹介
- ・徘徊する認知症の人の見守り
- ・話が出る場所を提供し、話を聞いてあげる
- ・介護保険など、必要なサービスへ繋がらず抱え込んでいるケースが見受けられる。必要な窓口へ繋ぐお手伝いをする
- ・定期的に訪問して相談に乗る。家族に対しては息抜きの機会を作る
- ・スーパーや、コンビニ等での買い物やレジでの支払い時の補助や、道路を歩いて迷子になっている場合等の声掛けや保護。その家族は疲弊している事が多いと察するので時々訪問して話を聞いてあげる等
- ・サポーター（制度）が地域に十分理解・浸透していない。地域がその役割を理解したうえで民生委員や福祉推進員などと連携して対応する体制づくりが進めば、サポーターの役割は相談、見守りなど、今も求められており、これからも必要不可欠となる
- ・自分がスーパーで買い物しているときの手伝いなど
- ・実際に義母を介護した身として感じた事はとにかく孤独だったこと。誰かと話しを共有するだけでも心がすくわれます
- ・認知症で外出時に困っているときに声をかけたり、家族への助言や役場への相談等、地域で共に暮らせるよう支援が可能 等

【問5】認知症への理解を促進するため、有効と思われる「広報」の方法を選択してください。（複数回答可）



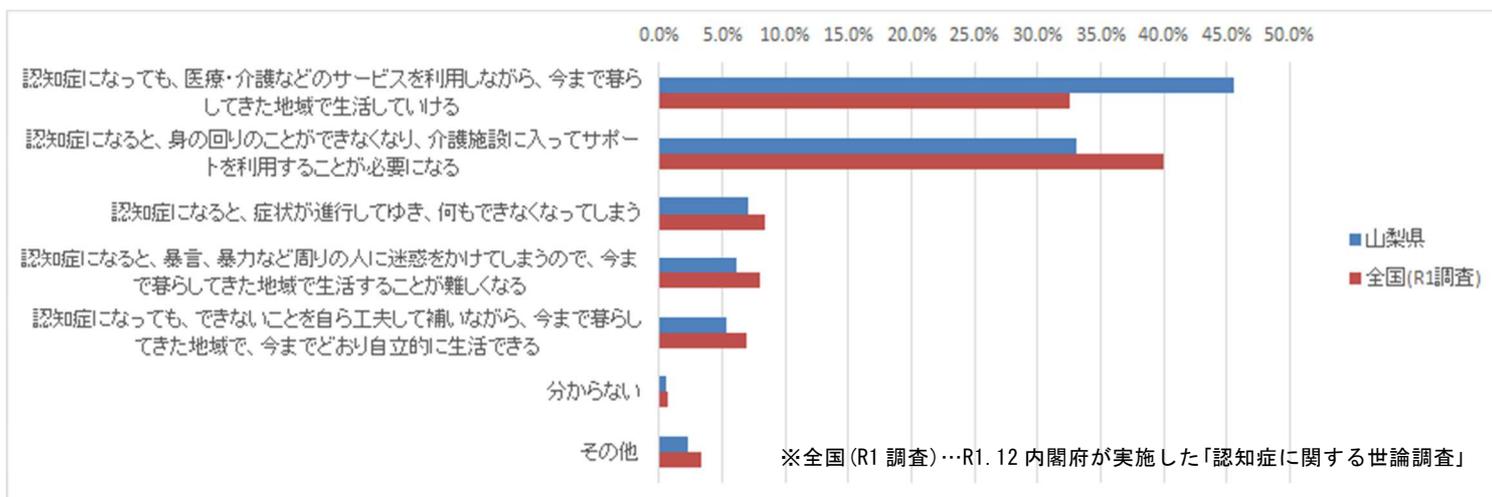
項目	回答数	割合
テレビCM	231	64.9%
広報誌	202	56.7%
新聞	166	46.6%
町内会の回覧板	146	41.0%
ソーシャルネットワークサービス(SNS)	117	32.9%
ホームページ	79	22.2%
わからない	7	2.0%
その他	10	2.8%
合計	958	-

n= 356

（「その他」の内容）

- ・ポスター
- ・学校教育で取り組む
- ・テレビでの特集番組放送
- ・ネットCM
- ・広報誌に認知症の人達の生活しやすいようなヒントを繰り返し載せてみる
- ・認知症当該者を看ているのは比較的高年齢例の労働従事者が多いため、その勤務先への資料配布 等

【問6】あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを選択してください。（1つ選択）

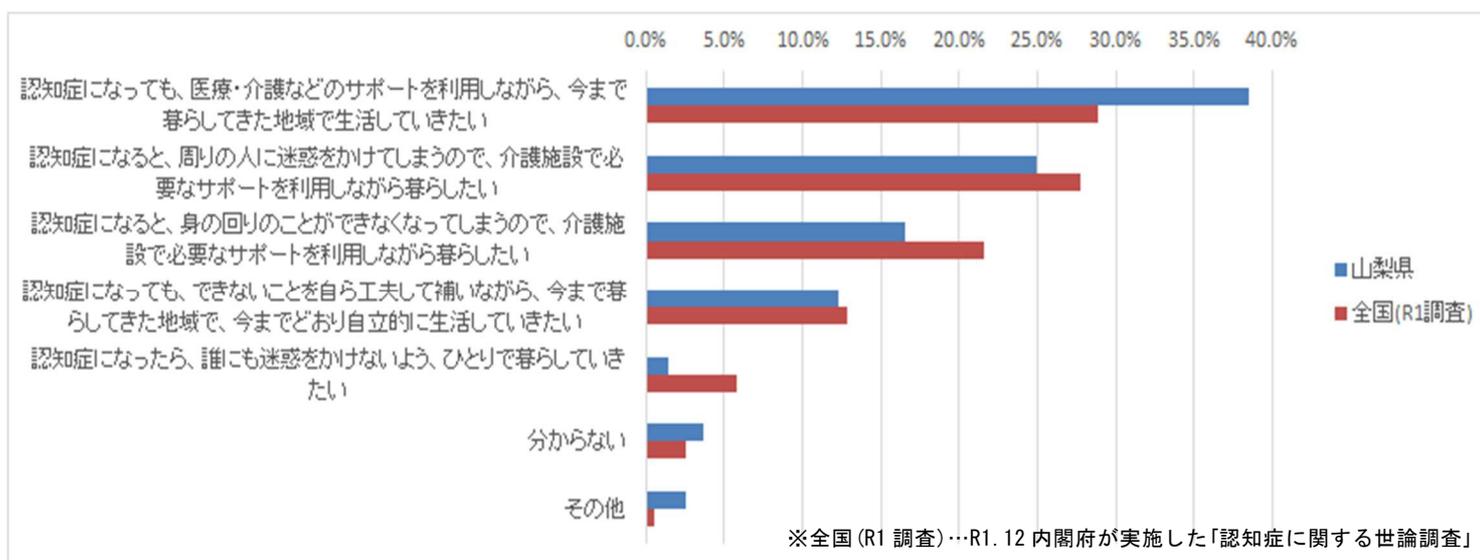


項目	回答数	山梨県	全国 (R1調査)
認知症になっても、医療・介護などのサービスを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける	162	45.5%	32.6%
認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる	118	33.1%	40.0%
認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう	25	7.0%	8.4%
認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる	22	6.2%	8.0%
認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる	19	5.3%	6.9%
分からない	2	0.6%	0.7%
その他	8	2.2%	3.4%
合計	356	-	-

（「その他」の内容）

- ・ 認知症の程度によって対応が異なるため、状況に応じた対応になる
- ・ 軽度であれば、サポートを受け、地域で暮らして行ける
- ・ MCI（軽度認知障害）での状態で体操対応すれば回復する例もある。認知症は誰もがなり得るため、共有していく社会を築く必要がある
- ・ 認知症の理解は、その家族あるいはそれぞれの身近に接する人々の状況による
- ・ 症状の段階により、サポート体制が異なる。（家族のサポート、介護サービスの利用、介護施設の利用等）段階的に第三者（医療機関等の）判断が必要な病気。家族の精神的負担が大きい、というイメージがある 等

【問7】もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。（1つ選択）

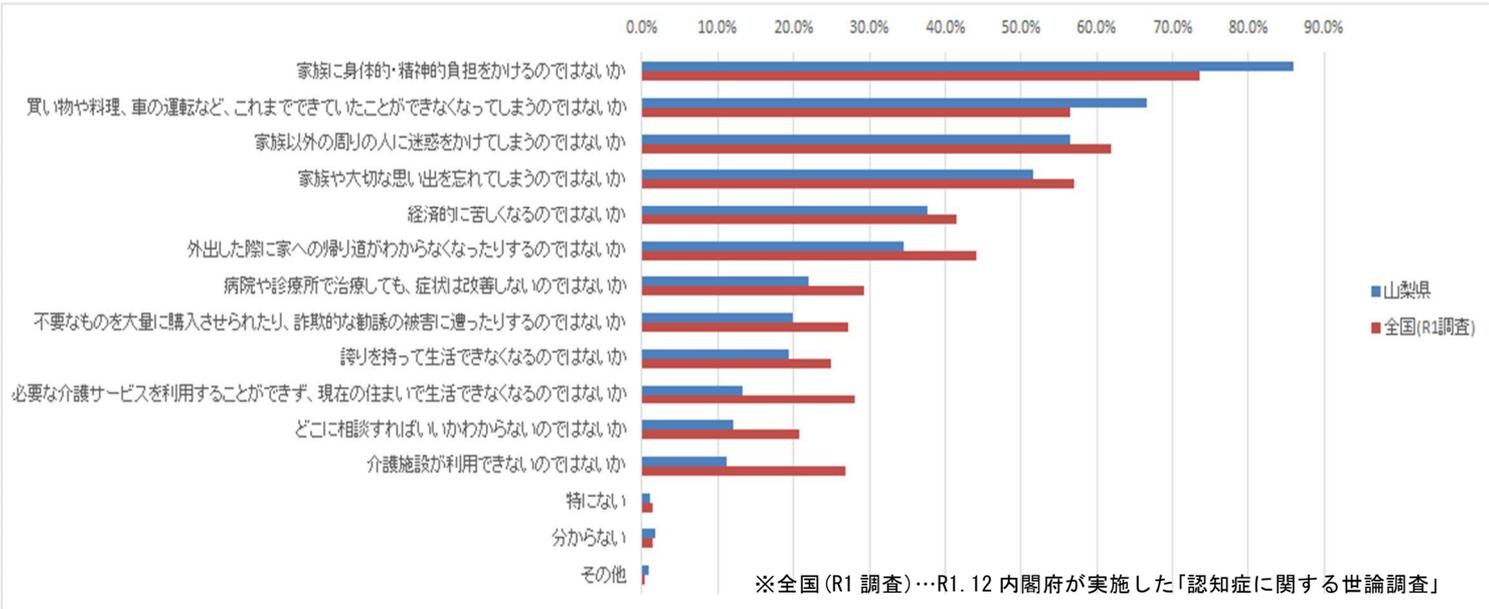


項目	回答数	山梨県	全国(R1調査)
認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	137	38.5%	28.9%
認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい	89	25.0%	27.7%
認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい	59	16.6%	21.6%
認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい	44	12.4%	12.9%
認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい	5	1.4%	5.8%
分からない	13	3.7%	2.6%
その他	9	2.5%	0.5%
合計	356	-	-

（「その他」の内容）

- ・軽度・重度で異なる
- ・誰にも迷惑をかけないよう 1人で暮らしていきたいが、その事によって周りに迷惑をかけるようだったら、介護施設のサポートを受けたい
- ・映画「最高の人生の見つけ方」の「棺桶リスト」のようなものを作ってやりたいことをすべてやった後、安楽死が理想
- ・自立できるところまでは頑張り、あとは自然にまかせる
- ・程度による。一人で生活が困難になったら介護施設のサポートを利用する
- ・軽度の段階にあっては「地域で暮らしたい」を選択したいが、重度になった場合は、家族などへの負担を考えると、施設対応が望ましいと考える

【問8】もし、あなたご自身が認知症になったら、どのようなことに不安を感じるとお考えですか。（複数回答可）



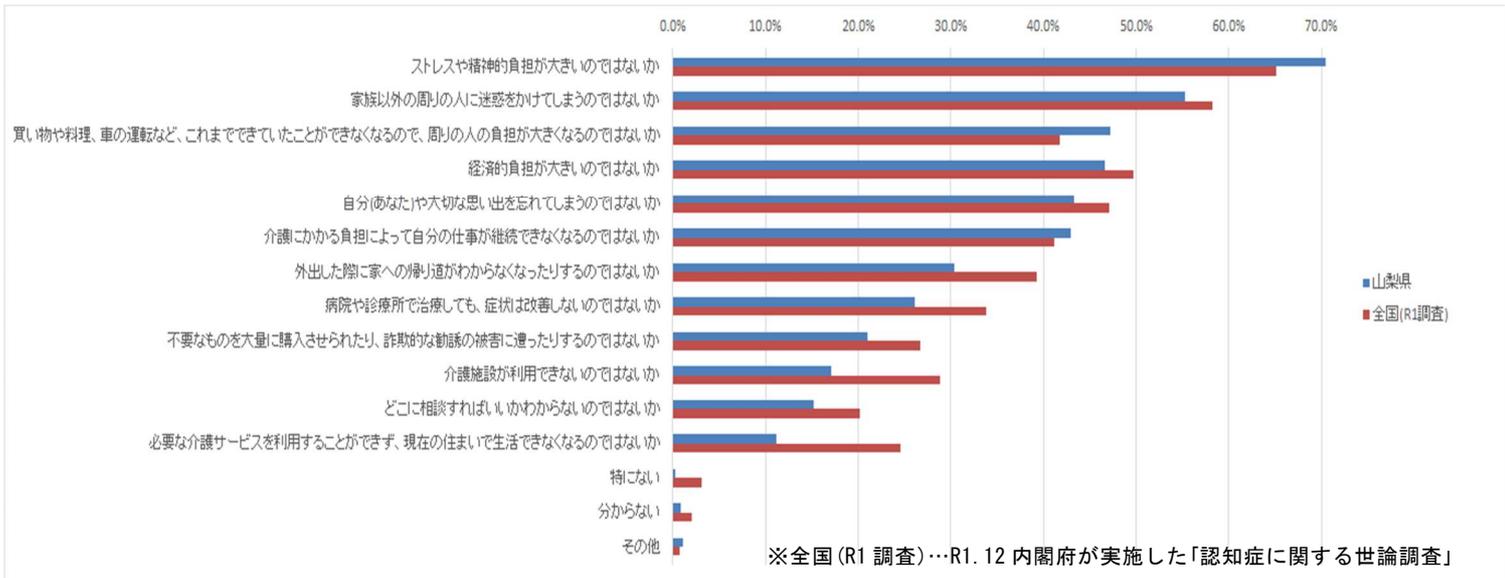
項目	回答数	山梨県 (%)	全国(R1調査) (%)
家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと	306	86.0%	73.5%
買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないかと	237	66.6%	56.4%
家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかと	201	56.5%	61.9%
家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないかと	184	51.7%	57.0%
経済的に苦しくなるのではないかと	134	37.6%	41.5%
外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないかと	123	34.6%	44.1%
病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないかと	78	21.9%	29.3%
不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないかと	71	19.9%	27.2%
誇りを持って生活できなくなるのではないかと	69	19.4%	24.9%
必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないかと	47	13.2%	28.1%
どこに相談すればいいかわからないのではないかと	43	12.1%	20.8%
介護施設が利用できないのではないかと	40	11.2%	26.8%
特になし	4	1.1%	1.5%
分からない	6	1.7%	1.5%
その他	3	0.8%	0.3%
合計	1,240	-	-

n= 356

（「その他」の内容）

- ・これから色々なことがわからなくなってくる、わからなくなる段階が不安
- ・仕事上、認知症の進行した状態の方に関わっており（色々なタイプはあるが）その状態になると辛い

【問9】もし、あなたのご家族が認知症になったとしたら、あなたはどのようなことに不安を感じると思いますか。(複数選択可)



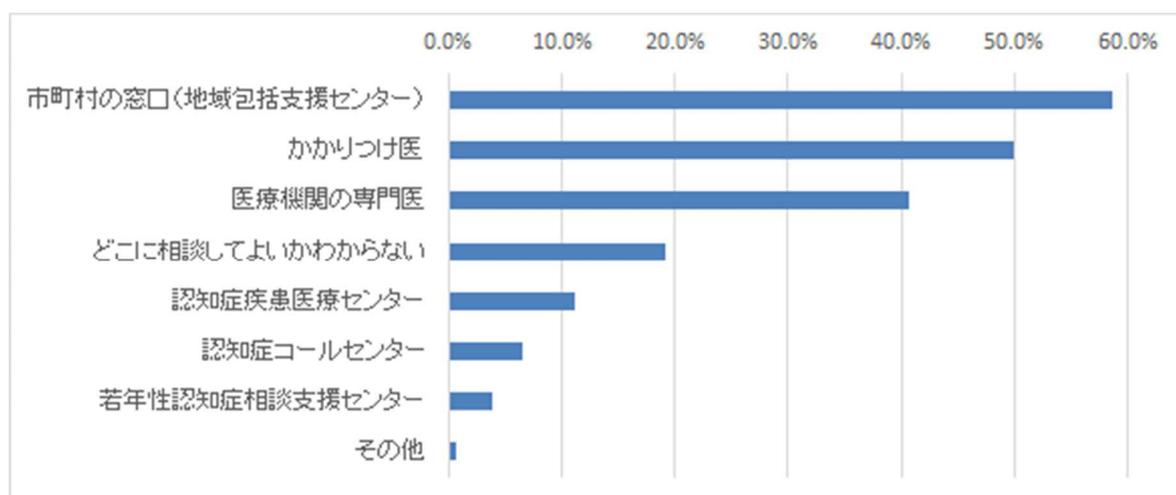
項目	回答数	山梨県	全国(R1調査)
ストレスや精神的負担が大きいのではないかと	251	70.5%	65.1%
家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかと	197	55.3%	58.3%
買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなるので、周りの人の負担が大きくなるのではないかと	168	47.2%	41.8%
経済的負担が大きいのではないかと	166	46.6%	49.7%
自分(あなた)や大切な思い出を忘れてしまうのではないかと	154	43.3%	47.1%
介護にかかる負担によって自分の仕事が継続できなくなるのではないかと	153	43.0%	41.2%
外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないかと	108	30.3%	39.3%
病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないかと	93	26.1%	33.8%
不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないかと	75	21.1%	26.7%
介護施設が利用できないのではないかと	61	17.1%	28.9%
どこに相談すればいいかわからないのではないかと	54	15.2%	20.2%
必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないかと	40	11.2%	24.6%
特になし	1	0.3%	3.1%
分からない	3	0.8%	2.1%
その他	4	1.1%	0.8%
合計	1,528	-	-

n= 356

(「その他」の内容)

- ・ 周辺症状がでないように接することができるか不安。怒ったり、きつい言い方をしたりしないでいられるか不安
- ・ 進行した状態を見るのが辛い
- ・ 実際に経験しないと分からない

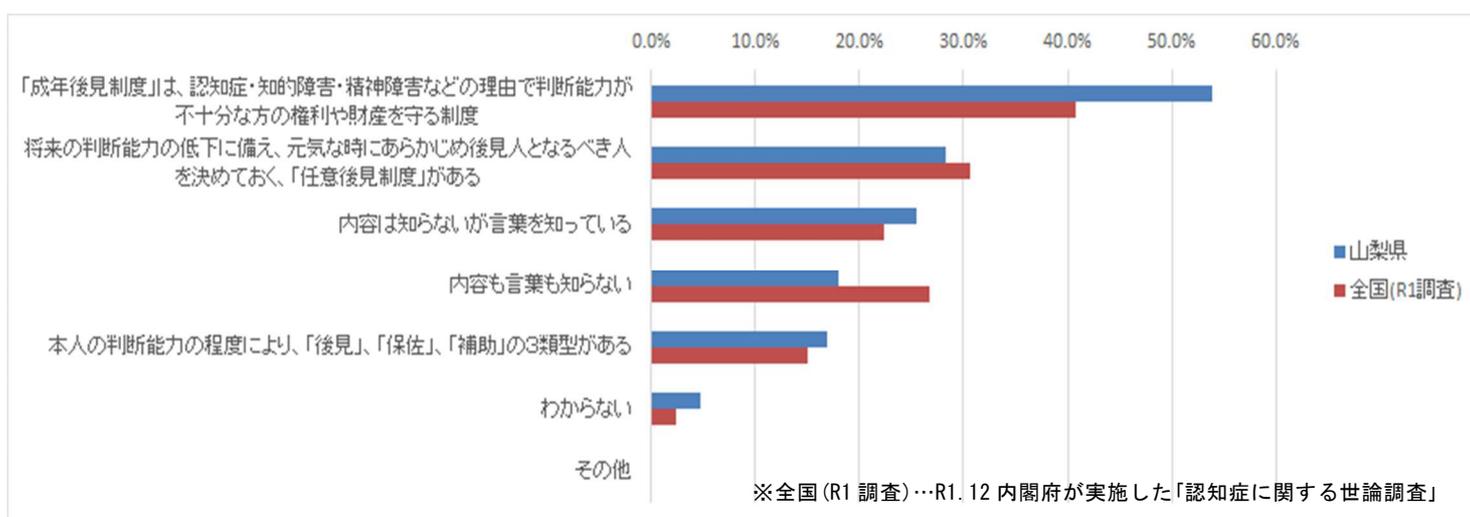
【問10】認知症に関する相談窓口として、あなたが知っているものを選択してください。（複数回答可）



項目	回答数	割合
市町村の窓口(地域包括支援センター)	209	58.7%
かかりつけ医	178	50.0%
医療機関の専門医	145	40.7%
どこに相談してよいかわからない	68	19.1%
認知症疾患医療センター	40	11.2%
認知症コールセンター	23	6.5%
若年性認知症相談支援センター	14	3.9%
その他	2	0.6%
合計	679	-

n= 356

【問 1 1】「成年後見制度」について、どのようなことを知っていますか。（複数選択可）



項目	回答数	山梨県	全国(R1調査)
「成年後見制度」は、認知症・知的障害・精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度	192	53.9%	40.8%
将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく、「任意後見制度」がある	101	28.4%	30.6%
内容は知らないが言葉を知っている	91	25.6%	22.3%
内容も言葉も知らない	64	18.0%	26.7%
本人の判断能力の程度により、「後見」、「保佐」、「補助」の3類型がある	60	16.9%	15.1%
わからない	17	4.8%	2.4%
その他	0	0.0%	0.0%
合計	525	-	-

n= 356